

観光局の会費は？

町長 活性化の柱で必要



岩井美保子 議員

【岩井】予算の説明によれば、歳入財源の確保が厳しい状況であるが、大山観光局への会費は必要か。

【町長】自立を促進するため、県の観光連盟でも同様の方式を行っている。

【岩井】脳ドック受診の対象者を70歳で区別した理由は、早期に定員に達したが、対応は。

【町長】対象者は今年度50歳、55歳、60歳の1200人に



大山観光局が入る大山情報館

通知した。定員50人を120人に追加した不愉快な思いをさせたことをおわびする。

【岩井】指定管理者が規程の使用料以外を請求した。不適格だ。

【教育委員会】名和トレンの農産加工室で、使用料以外の収受があったことは事実。

料金返還の指示をし、厳重注意をした。その他の管理では評価をしている。

「社会保障と税の一体改革」を問う

町長 国の動向を注視し見守る

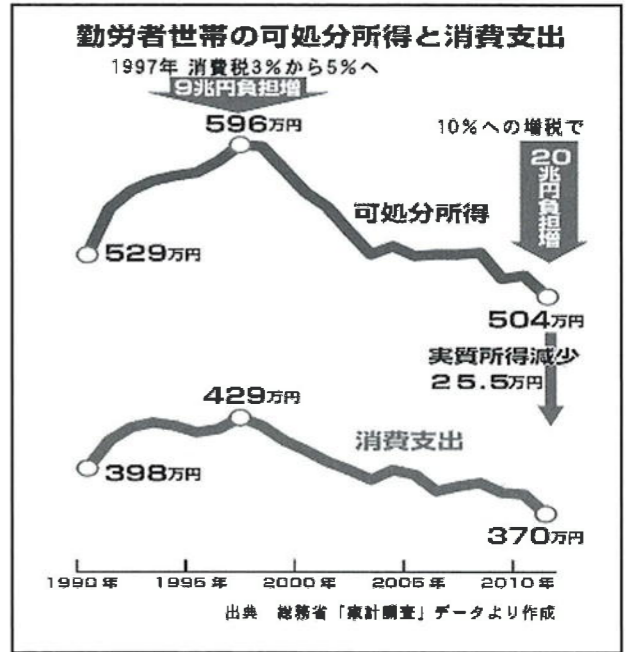


大森正治 議員

【大森】民主党・野田政権が、「社会保障と税の一体改革」と称して推進する消費税10%の大増税計画に対して、多くの国民から強い不安と批判の声が上がっている。この増税計画には次

の問題点がある。

- ムダを続けたままの大増税
- 社会保障の切り捨てと一体の大増税
- 景気を悪くし、財政危機を深刻にする消費税を増税しなくても、次のことで財源と税収増が可能
- ムダづかいの一掃
- 富裕層や大企業に応分の負担を
- 累進課税の強化
- ◎大企業の内部留保266兆円の7%を



賃金引き上げと雇用拡大に還流し、経済を内需主導で安定成長の軌道にのせる「一体改革」について町長の認識は。

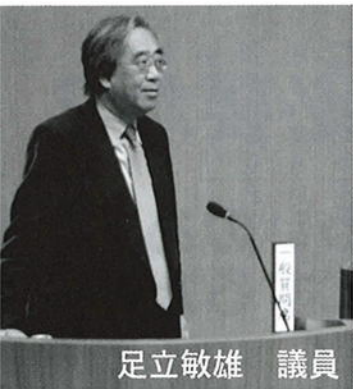
【町長】本町へも影響があるので、国の動向を注視していく。

【大森】町民のくらしや地域経済を守るため、増税中止を政府に働きかけないか。

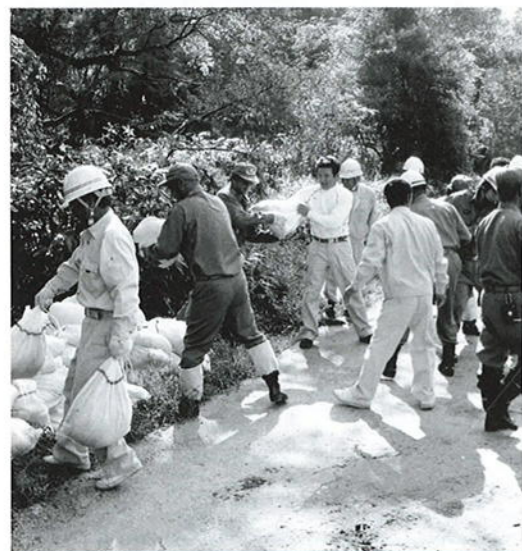
【町長】国の動向を見守る。

防災対策は？

町長 それぞれ進めている



足立敏雄 議員



災害に備えた防災訓練

【足立】東日本大震災から一年が経過する。地震、津波、原発事故それぞれの災害の対策は。

【町長】地震対策では、自主防災組織の強化に取り組んでいる。

津波対策は、沿岸部の防災無線子局の増設や、津波浸水を示したハザードマップを作成する。

原発事故対策は、西部の市町村で構成する鳥取県西部地区地域振興協議会で、

安全・安心のための要望書の提出をしている。

また、鳥取県西部町村原子力防災の検討会や、原子力災害時の避難計画の検討を進めている。

県が設置するモニタリングポストを、役場大山支所に設置するほか、サーベイメーターを購入し、小中学校、保育所などで定期的に放射線量を測定している。

武道の安全対策は？

教育委員会 情報提供や指導を行う



柔道の安全対策を

町内中学校での、ここ3年間の柔道によるけがの状況は。

【教育委員会】7件あり、頸椎捻挫3件、足首と肩甲骨の骨折1件ずつなど。

【大森】安全対策として、どんな支援を行うか。

【教育委員会】受け身の指導を徹底する。安全への情報提供や指導を行うなど。

【大森】保護者の不安解消のための方策は。

【教育委員会】安全への配慮を保護者に知らせる。

【大森】柔道を選択した理由は何か。生徒の希望は取り入れられたか。

【教育委員会】武道館があり、柔道着が整っていることや、教員が柔道の有段者であることなど。生徒の希望は取り入れられていない。

新交通システムは？

町長 周知に努め
修正していく

【吉原】町民の日常最低限度の生活を維持するために、新しい公共交通の仕組みができた。
買い物弱者支援の施策としても大切な生活交通となるが、現状と課題は。

【町長】利用方法が巡回バスと異なり、予約が必要で料金も変わる。
高齢者に不安感があると心配している。

【吉原】料金は急に値上がりする。福祉タクシーは他の制度へ変わる。予約もわずらわしいと不満の声が大きい。
高齢者の外出支援という観点からも、周知徹底とシステムの改善が必要では。

【町長】試行期間を設けており、変更や修正も考えている。



吉原美智恵 議員



4月から運行開始のスマイル大山号

6次産業化の推進は？

町長 展開を強めていく

【吉原】農林水産業と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した産業を創出する6次産業化の推進がはかられている。
6次産業推進室が

設けられているが、町民との連携の強化が必要ではないか。

【町長】6次産業化はあくまで行政の位置づけである。総合的な経済活性化策として展開していく。

【吉原】本町にとり、有望な施策と考える。

大山恵みの里公社が農林水産業者への支援や育成をはかり、町民と取り組んで行く役割を果たす。
取り組みを強化すべきではないか。

【町長】6次産業化の展開を強め、支援を進める。



スーパーマーケットに並ぶ大山町の産品

海外出張は必要？

町長 評価している

台湾とシンガポールに出張し、その費用の250万円は公社から支出しているが妥当か。成果はあったのか。

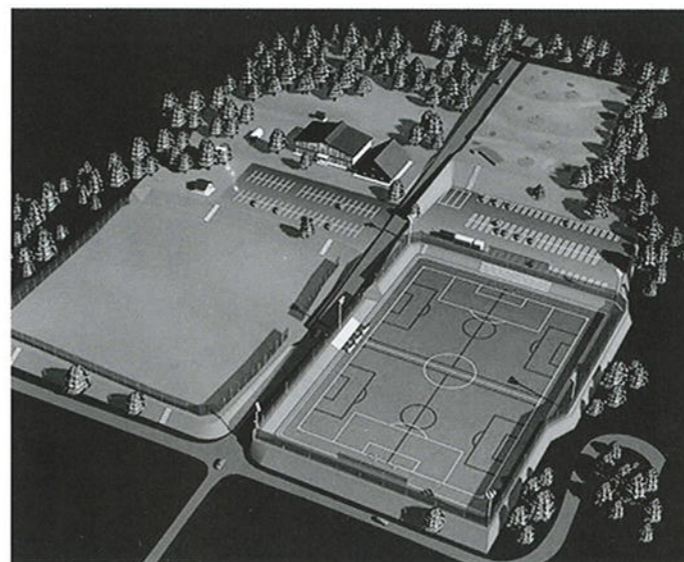
【町長】販路開拓、品質向上、組織体質の強化などに貢献してもらった。
海外出張は、平成22年度に日本貿易振興機構から、台湾への物産展示会・即売会の声をかけてもらった。PR販売促進、広告などの予算を計

上し、評議員会と理事会にも承認をもらった。
国内の販売戦略と同じスタンスで海外への取り組みを進めている。

【諸遊】公社の農産加工施設を民間業者へ指定管理に出す考えはないか。

【町長】他の事業者の方が効果的であるとすれば、計画の見直しを行って委託先の変更ということになる。

【諸遊】山香荘のサッカー場建設は約2年審議をして、昨年9月議会で可決された。まだサッカー場は完成しておらず、利用者数も不明のなかで「食の魅力の館(仮称)」建設計画は時期尚早と思う。
内容と規模、町の財政負担はどう考えているのか。



山香荘の完成イメージ

【諸遊】町長が迎えた大山恵みの里公社の専務理事が3月で退職するが、実績と評価は。
専務は平成23年度に6回、合計69日間、



諸遊瑋司 議員



加工品の販売先は…(農産加工施設)

ハコモノは必要か？

町長 にぎわいのある
まちにするため

町の人口は年々減少し、20年後は1万2000人で老人化率44%と予測される。国保に使う金額が毎年1億円ずつ増加し、平成23年度は24億円である。また介護保険も25%の増加で4月から月額5490円となる。
ハコモノは不要と考える。

【町長】事業費は「食と地域の交流促進事業」と「過疎債ソフト事業」を財源としている。
施設建設が必要となった場合は辺地債などを活用し、事業者に使用料の負担を求める。高齢化が進むが、暮らしやすいにぎわいのある元気な町にしたい。

基金の使い方は適切か？

町長 妥当である

【近藤】町民の一体感づくりのための合併振興基金が、大山恵みの里公社への補助金として約5000万円も支出される。基金の使途として、妥当か。

【町長】合併振興基金は、「合併にともなう地域の振興および住民の一体感醸成」のため、合併特例債を活用して平成19年度から積み立てており、「新町まちづくりプラン」に位置づけら

れた事業の財源に使うことができる。公社は、道の駅での観光案内、町内産品の販売、特産品の開発・研究などで地域の振興に寄与しており、妥当性を欠くものではない。

【近藤】合併振興基金を含め、現在の基金積立額は多すぎる。町民に基金活用アイデアを募集するなどして、地域活性化のために積極的に活用すべきではないか。

【町長】平成22年度末の、普通会計の基金残高は約37億円。このうち、使途を定めない財政調整基金が約14億円、減債基金が約4億円、その他で特定の目的基金が約18億円で、これは県内で5番目に多い額である。

しかし、平成27年度以降は、合併特例による普通交付税が少しずつ減額され、平成32年度には平成22年度に比べて約10億円の減少となる試算がある。

基金の取りくずしを行う必要が生じることが予測され、基金を増額している。基金は活用することも必要であり、「集落の健康診断」や「集落座談会」などで寄せられた住民の意見・提案などをもとに、検討していきたい。



国際的な人材育成を

人材育成に基金を！

町長 考えていない

【近藤】地域のリーダーを育てるため、青年・少年・女性などの海外研修を支援する財源として、現在の基金を活用し「人材育成基金(仮称)」をつくってはどうか。

【町長】新たな基金をつくることは、今のところ考えていない。



近藤大介 議員



道の駅に並ぶ地元産品

子どもにスキー合宿を！

教育委員会 スキー場が近い

【西尾】本町にはスキー場がある。リフトの無料優待券もある。本町の小学校のスキー合宿の取り組みと、他町の状況は。

【教育委員会】スキー場が近いこと、保護者の負担のことなどもあり、スキー合宿は行っていない。

旧大山、名和、中山は、学校ごとに違うが実施している。西部地区の多くの学校が、スキー教室で合宿をしている。

回数を増やすなど、できる限りの努力をする必要がある。

【西尾】教育要領の中心である「生きる力の育成」は、ほこれること、自信につながることを育成だ。スキーが自慢の子どもが自慢の修得と合致すると思うが。

【教育委員会】スキー以外でも自分の好きなこと、できること、ほこれることを身に付けさせてやりたい。



スキーが自慢の子に



西尾寿博 議員

マイクロ水力発電所を！

町長 可能性を調査したい



水力を利用した発電を

率も太陽光と比較すると5〜8倍ある。国の施策でも、小水力には支援がある。県でも取り組みを進めている。

小水力発電の実現の可能性、現状や国の流れを見ながら調査研究をしたい。

【西尾】自家発電で地域電力をまかなって

いる市町村が全国に57くらいある。再生エネルギーと、地域の活性化を結びつけて考えることはできないか。

【町長】マイクロ水力発電は、中山間地に適している。まちづくり委員にも問いかけてみたい。

行政改革は？

町長 進めていく

【鹿島】第二次大山町行政改革大綱と、集中改革プランの職員定数目標と現状は。
【町長】平成17年合併時の職員数は266人で、平成23年度は228人。



鹿島功 議員

集中改革プランでは、平成23年度225人、平成24年度219人の目標。
定員適正化計画では、平成27年4月の職員数を217人としている。
現在は集中改革プランの目標は達成していないが、定員適正化計画は目標を達成している。



職員の定員適正化が進められている

総合支所方式から、現在の本庁支所方式へと機構を変えた。平成22年にも組織変更をしたが、町民のこともあり、急な変更はためらう。
しかし、今後は少ない職員で住民サービスをしていくために、事務事業の見直しや組織の再編などプロジェクトチームで検討していく。

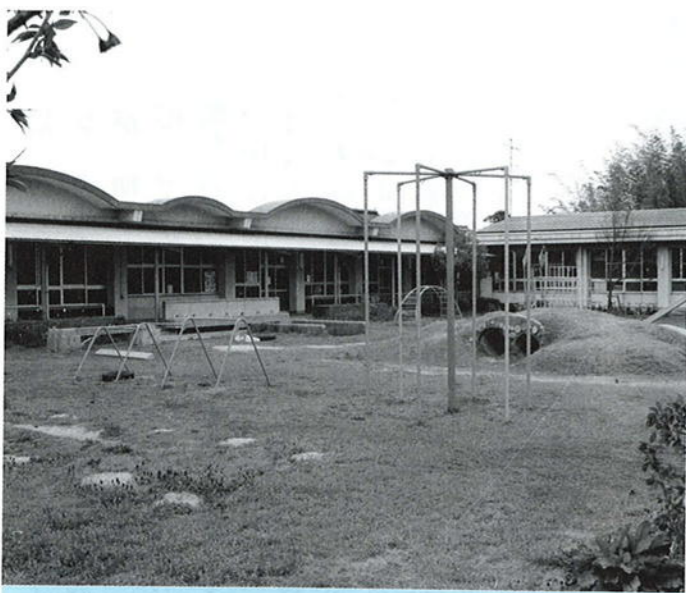
【鹿島】本町の技能労務職の給与が、県や国の同職より高いのはなぜか。
【町長】1990年代の同一職場は同一賃金という交渉結果として、技能労務職も一般職と同一給与表を認めたという経緯がある。
その後、合併時に

技能労務職の給与は？

町長 交渉を継続

組合と交渉をしてきたが、結果的に解決せずそのままの状態。現在これを改めるよう組合と交渉を継続している。
また、技能労務職員は、給与の是正や職種の転換（一般職に変わる）、さらに配置転換も申し

入れているが、応じてもらえない状態。町内にゴミ焼却施設がなくなることや保育所の統合で、調理場の職員がなくなるなどの説明をしたが、前に進まない状態である。
今後も前向きに交渉を進めていく。



技能労務職の今後は（閉所の保育所）

最終年度の予算編成は？

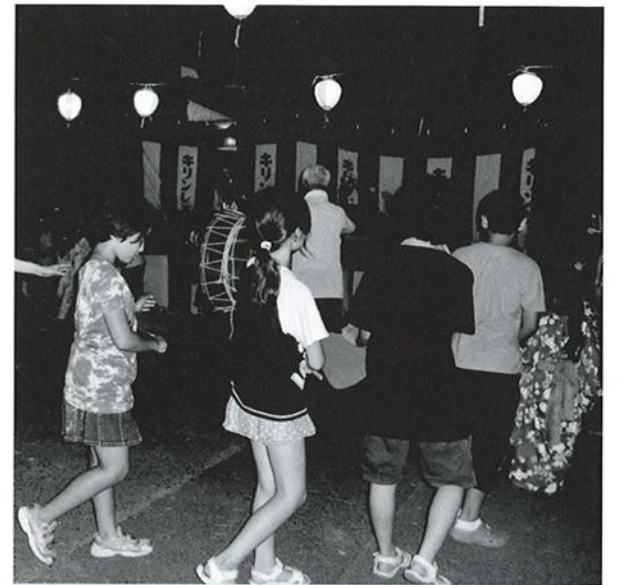
町長 防災と住民参画

連携し一体となった地域活性化と、子育てや福祉の充実に向けた予算編成をした。
【野口】最も思いを入れた予算は何か。
【町長】「24年度にスタートする新事業の運営」「災害に強いまちづくり」「若者定住の取り組み強化」「住民参画によるむらづくり、まちづくりの推進」である。

【野口】平成24年度は森田町政の最終年度である。大山町への思いが、どう予算に表れているか。
【町長】農林水産業や観光、住民と行政が



野口昌作 議員



名和地区の小竹集落の祭り

恵みの里公社の補助金は？

町長 要望を査定

【野口】大山恵みの里公社は、専務・工場長などがつきつきとやめ、混迷を深めている。
【町長】退職が続いたことは残念だが、混迷ではない。
【野口】公社がやるべき仕事は。
【町長】大山恵みの里づくり計画の中に規定されている取り組みが、公社の任務である。
【野口】平成23年度、専務理事が台湾・シンガポールに6回出張し256万円の費用を使っていることの評価は。
【町長】必要性があり、事業計画にのせ、予算計上している。
【野口】平成24年度も同じ取り組みに補助を出すのか。
【町長】公社からの要求を査定している。

【野口】山香荘に食の魅力づくりを計画し、起業家を募集した。プレゼンテーションをし、現在2組が候補であるが詳細は。
【町長】1組は、大阪に住んでいる大山町への移住希望の夫婦。

山香荘のレストラン計画は？

町長 起業家を募集し進めている

こだわりコーヒーを中心としたカフェレストランを開設し、野菜を中心としたメニューを提供する企画。もう1組は、米子市を拠点としたグループで、イタリア野菜を栽培し、本格的なイタリアンを安価に提供するだけでなく、野菜を全国に販売するような企画。
【野口】募集要項で、起業直後の経営支援として「人件費助成・家賃免除」などがあったが。
【町長】神田地区で、いきなり採算に合う事業は困難。具体的には、今後の検討課題である。
【野口】事業の中途放棄の禁止などあったが。
【町長】中途半端で投げ出すなど許されない。責任をまっとうしてもらい必要がある。

森のようちえんは できないか？

教育
委員会

保護者の理解があれば 子育て支援事業で検討



竹口大紀 議員

【竹口】町長が理想と考える保育とは。

【町長】保育所や保護者、地域の人と関わり、集団の中でたくましく育っていく保育。

【竹口】本町でも施設型ではない、自然を生かした保育ができないか。



自然にふれ豊かな感性が育つ子に

現在の保育所で自然にふれあひ、豊かな感性が育つよう努める。

【竹口】行政主導が難しいければ、NPOや民間事業者に補助をする考えは。

【町長】地域活性化交付金が活用できる。

【竹口】新体制の子育て支援センターで計画しては。

【教育委員会】子育て支援センターの事業として、保護者の理解が得られれば検討してもよい。

TPP参加に異議を！

町長 懸念があり反対



岡田聡 議員

【岡田】野田総理は、TPP参加の事前協議を進めようとしているが、国内産業に与える影響をどう考えるか。

【町長】経済産業省は、TPP不参加の場合、輸出額が2割以上減少し、GDPが10兆5000億円減少すると試算している。しかし、農林水産省は米などが壊滅的な影響を受けると想定している。医療・金融などでも影響が



議会主催のTPP勉強会

懸念される。

【岡田】特に町内の基幹産業である農業と他の分野への影響はどう予測するか。

【町長】本町では農業生産出額の約56%、50億円減少するといふ試算結果である。

【岡田】輸出への影響は、関税よりも円高の方が大きい。輸出が伸びることなどないと思うが。

【町長】懸念がなくならない限り反対の立場である。

教育方針は？

小中学校の連携を

教育
委員会

めの「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切である。どう対応するのか。

【教育委員会】今回の改定は、国際的な学力調査の結果で、日本の子どもは知識を問う問題の正答率が高いが、知識を活用して考える問題で課題があると指摘を受けたもの。

鳥取県の「少人数学級を生かす学びと指導の創造事業」で、名和小、名和中が小中連携の取り組みを進めていく。

「大山町教育振興会」を立ち上げ、中学校区ごとの小・中学校の縦の連携、小学校同士・中学校同士の横の連携を進めていく。

【岡田】新学習指導要領は、子どもの「生きる力」を育むという理念である。知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視している。

これからの教育は、ゆとりでもつめ込みでもない。変化の激しい社会を生きるた



知・徳・体で生きる力を

首長が定める 教育目標は？

教育
委員会

独立性を 保ちながら連携

【竹口】首長が定める教育目標をどう考えているか。

【教育委員会】首長と教育委員会が独立性を保ちながら連携し、教育の方向性を定めていくことが大切である。

【竹口】教育の政治的中立をどのように解釈しているか。

【教育委員会】公的な資質を育む学校教育では、政治に関する

る知識の習得は必要である。特定の政治的思想にかたよった教育をしてはならない。

【竹口】首長が「中学校の統合はしません」と宣言するのは教育委員会の管理権限に入り込んでいるのでは。

【町長】学校の統合は、地域づくりやまちづくりの視点もある。

の指定管理は、教育委員会管轄にある現状で、町長は独断で指示ができない。

教育の政治的中立性の確保は、社会教育・芸術文化・スポーツなどにまでおよぶ必要があるのか。

【教育委員会】芸術や文化などを含め、教育委員会が総合的に事業をすることで連携はかれる。



教育委員会が主催するスポーツイベント

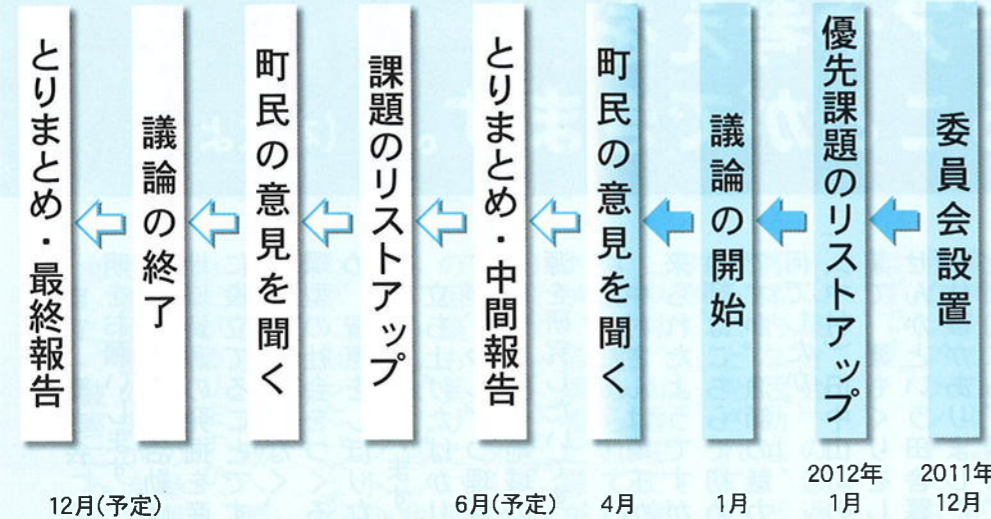
兵庫県淡路市から 議会広報の研修に



1月31日に、兵庫県淡路市議会の広報委員会が視察に来られました。議会だよりだいせんの作成手法を説明したところ、「大山町の議会だよりが大きく変わった要因は何か」「担当記事の割り振りはどうしているのか」などの熱心な質問がありました。また、淡路市議会の広報委員さんと意見交換をさせていただきました。その中で、議会だよりのさらなる充実させるためのアイデアが多く出されましたので、今後の紙面に生かしていきたいと思っております。

議会改革調査 特別委員会の 状況報告

大山町議会では、特別委員会で議会改革の議論を進めています。6月定例会で中間報告を行うために活発に意見を出し合い、町民の方々の意見交換も行います。



おめでとうございます 自治功労者表彰



◎県表彰
町村議会議員在職13年以上
岩井美保子 議員 (右)

◎全国表彰
町村議会事務局職員在職15年以上
関 真弓 書記 (左)

議会だより23号

永年在職し功労のあった議員と職員が、2月21日に鳥取県町村議会議員会、全国町村議会議長会から表彰されました。

また、議会だよりだいせん23号(平成22年12月定例会)が、鳥取県町村議会広報コンクールで優秀賞に選ばれました。

町民みなさまのご協力に感謝いたします。これからもよろしくお願いたします。



議会広報委員

みなさんからの陳情は こうなりました

3月定例会で審査した陳情の委員会意見と、委員会での審査の様子本会議での採決結果を報告します。

陳情の内容	陳情者	委員会の意見・結果	付託委員会	本会議採決結果
「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書提出	鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 濱崎智熙	こころの健康は国の総合的、長期的な政策を保障する基本法制定が強く求められている。全会一致で採択。	教育民生	全会一致
公的年金引き下げに反対する意見書提出	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 松本正孝	特例措置は高齢者の生活を守り地域経済を活性化するためには必要。賛成3人、反対2人で採択。	教育民生	採択に賛成 16人 反対 1人
障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める意見書提出	鳥取県ろうあ団体連合会 会長 荻原耕三 (外2名)	障がい者が自分らしく暮らせる社会を実現するためには、総合福祉部会の提言を反映させた法が必要。賛成4人、継続1人で採択。	教育民生	全会一致
行政当局に中高ふれあいセンター(隣保館)館長解雇を求める提言	坂田丈夫	中高ふれあい文化センター(隣保館)館長が、大山町に損害をもたらしたとは認められない。全会一致で不採択。	総務	採択に賛成 0人 反対 17人
TPP参加に向けた関係各国との協議中止の意見書提出	農民運動 鳥取県連合会 代表者 今本潔	農林水産業、医療や食の安全などの分野で、TPPに参加した場合のデメリットが多い。採択4人、不採択1人で採択。	経済建設	採択に賛成 14人 反対 3人

【議論】TPP参加協議の中止

【経済建設常任委員会】

【賛成】農業分野だけでなく、日本のよい面があやぶまれる。

【賛成】初めはよいと考えていたが、やはりTPP参加には反対。農業だけをみても、その地域の伝統文化が全部こわされてしまう。

【反対】自由貿易はどんどん進む流れにある。貿易の自由化には賛成だ。

【反対】政府は交渉に早く入って有利な条件を引き出したい。TPPに参加することは心配ない。

【賛成】世界中が貿易の自由化に向けて進んでいる。いやだといってもTPP参加の社会情勢になっていくと思うが、今は参加に反対。

【賛成】大山町の基幹産業は農林水産業。深刻な影響が出る試算でもあるので、デメリットが多いと思う。医療や食の安全にも影響がおよぶのでTPP参加に反対。

【賛成】世界が貿易の自由化に向けて進んでいる。いやだといってもTPP参加の社会情勢になっていくと思うが、今は参加に反対。

【賛成】食の安全性が分らないまま、安いものを買わされる不安がある。

【反対】関税を撤廃しても、よいものを作っていれば生き残れる。何をかうかは消費者の問題。

【賛成】遺伝子組みかえの野菜などが輸入されても、わからない状況になる。国内のように検証できない。最初から聖域なき関税撤廃は危ない。

【賛成】根本的な解決がはかられない限りは農業を守るしかない。

【賛成】食の安全性が分らないまま、安いものを買わされる不安がある。

【反対】これだけ保護されていると、日本の農業はよくなる。消費者の視点に立って、需要がないものはなくなっていくべきだ。

【賛成】食の安全性が分らないまま、安いものを買わされる不安がある。

【反対】関税を撤廃しても、よいものを作っていれば生き残れる。何をかうかは消費者の問題。

【賛成】遺伝子組みかえの野菜などが輸入されても、わからない状況になる。国内のように検証できない。最初から聖域なき関税撤廃は危ない。

【賛成】根本的な解決がはかられない限りは農業を守るしかない。

【賛成】食の安全性が分らないまま、安いものを買わされる不安がある。

若手起業家グループ 築き会を取材!

町内の若手起業家グループの3人と
会談を行い、将来展望や大山町の魅力
を語り合いました。



人が集まれば よいアイデアや考えを 取り入れることができます。(本文より)

まず「築き会」の説明をお願いします。

(中村) 主な活動は、地域資源の発掘を産業に役立てることです。産業優先ではなく、循環型の社会をつくるため、智恵をしぼりながら取り組んでいます。

立ち上げたばかりですが、少しずつ理解者を増やして、地域の資源を研究したいです。

中村さんは埼玉から来られたようですが、漁師はこちらで初めてですか。漁師の魅力は何でしたか。

(中村) 旧中山町の事業で、素もぐりをしませんかという田舎暮らし体験がありました。全国的にも、素もぐりで田舎暮らしを募集しているところはあまりありませんでした。

鳥取の海は、思った以上に豊かで資源があり、日々ありがたいなと思っています。

漁師の先生など教わったりしたのですか。(中村) 旧中山町で素

もぐりの先輩が17人います。初めはスパルタ的だと感じましたが、きちんと世話をしてもらえました。

埼玉の地元で、田舎暮らしをしたかったと考えている人はいますか。

(中村) 埼玉ではなく、インターネットでは、どうやって素もぐりの漁師になったかなどの質問は10年間で5件くらいあります。

大山町に来てもらうためのいろいろな条件整備をしたなら、若い人

は来ると思いませんか。(中村) 来ると思いますが、仕事はどうですか。

北村さんは、法人組織で大工をされていますが、仕事はどうですか。

(北村) 新築は少なくなってきましたが、大山町は建築確認がいらぬエリアで、仕事はスムーズにできます。

8人の法人組織であれば、相当な売り上げが必要だと思います。(北村) 人数を増やし



【中村隆行 中村らたかゆき】38歳
(株) 漁師代表取締役

て売り上げを増やすことは考えていません。仕事の量に合わせて今の人数になりました。

これ以上に人数を増やす気はなく、責任施工の信頼関係でやっていきたいです。

営業・施工・経理など、やる事が多く大変だと思えます。(北村) 日々いろいろと先のことを見ずえやっています。建築一本でやっていけるのかということもあり、これからの課題です。

建築へのこだわりはありますか。

(北村) 一貫しているのは、土にかえるもので仕事をする事です。木や土などを使った昔ながらの工法で、現代に対応できる建築の仕事が増えてきました。琴浦町で国の文化財に指定された河本家住宅の仕事もあります。奈良の親方についていた時には、山に入って木を購入し、製材することを教わりました。松の材質は大山町が日本一だと思えます。水脈や雪や気候の関係だと思えます。

こうしたらもっと町がよくなるという提案などがありますか。

(中村) やはり大山町の一番の資源は水。「築き会」を立ち上げた要因でもあります。水を大切にすることが大事だと思います。

(大廻) 私は松江出身で神戸に行き、理学療法士をしていました。都会は人工物が多いですが、大山町は海あり山あり川ありでいられるという声が多いと思えます。

大山町は自然がいっぱいなのに、生かしていかないという事でしょうか。

(大廻) もっと生かすべきだと思います。

(中村) 都会の人があがれているのは、自然が豊かなところですが、全国を見ても太平洋ベルト地域以外はほとんどが田舎。水や自然が豊かな地域は他にありませんが、なぜ大山町の自然がよいと思われたのでしょうか。(大廻) 自然が凝縮し

人に支援があればよいと思えます。

(大廻) ゼロから起業することは大変だと実感しています。起業のリスクが少なくなるような支援があればよいと思えます。

(北村) やはりコミュニケーションが一番大事だと思います。人が集まればよいアイデアや考えを取り入れることができます。

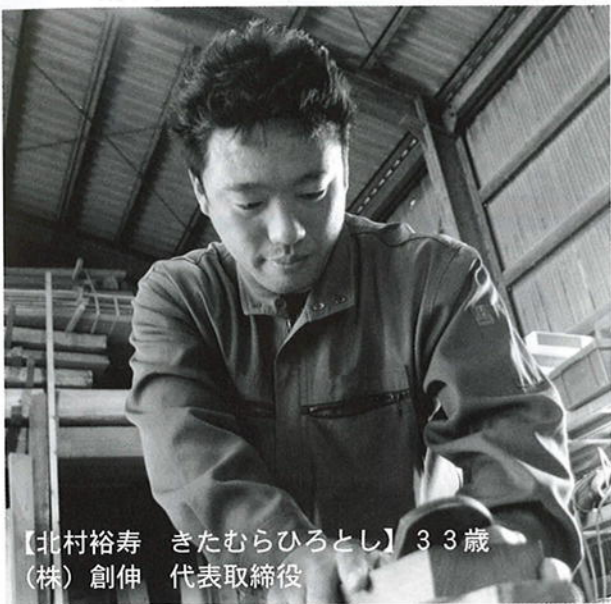
(中村) 議員さんと話をするのは初めてでしたが、話す前と今では印象が違いますので、話す場は大事だと思います。

取材を終えて

築き会の名前の由来は、「築」に北村さんがあつかう木と大廻さんがあつかう竹があり、地元のよさを「築く」と「気付け」という2つの意味があるということでした。

現在は、地域資源を見つめ直そうというテーマに関して、2週間に1回のペースで話し合っているそうです。興味のある方は、企画情報課の未来づくり戦略室までお問い合わせ下さい。

0859・54・5202



【北村裕寿 きたむらひろとし】33歳
(株) 創伸 代表取締役



【大廻慎司 おおさこしんじ】36歳
(株) 大山竹炭工房 代表取締役

みんなのひろば



瀬原磯治 (金屋)

酒はおいしいしよく飲みたい

酒を愛し、酒を飲む習慣は極めて自然です。すっきりした酒、ふくよかな酒、シャープな酒、人それぞれに個性があるように、酒の個性もさまざまですが、どうであれ何よりは酒

は人の心を動かし開かせる力を持つているのだと思います。人の心を動かし、開かせ、慰め、鼓舞する。そんなパワーを持つものであるだけに、酒を飲むには「大人の資格」が要ります。

自動車の運転と同様に人間の力以上のパワーをあつかうからには、それなりの心得を持たなければなりません。「酒は憂いの玉帯」という言葉があるように、酒を心の憂いをとりはらってくれます。そもそも酒はストレスの軽減など利点もありますが、体を傷つけないように飲みましょう。ほろほろ酔い加減で・・・飲酒運転のない町をつくりましょう。



建部恵依子 (宮内)

介護職にたずさわって

介護職場で、ケアマネージャーとして仕事をすることで、感じたことを書かせていただきます。介護に対して先が見えなく、不安な気持ちいっぱいの方がいらっしやると思います。そのようなときに、介護者の心の支えとなり、

力となることができるのが、担当ケアマネージャー・包括支援センター・民生委員です。心を開いて相談されれば、必ず何らかの道が開かれ、解決の糸口が見えます。特に、担当ケアマネージャーは、悩みを共有し、支援の手を差しの

べます。また、人生の最期を迎えようとしていられるご高齢者に対して、かわられるご家族の姿を目の当たりにし、介護者の方の人間としてのすばらしさを感じさせていたただいたこともありました。少子・高齢化社会の到来で、介護に対するの危惧がささやかれています。人として生を受け、幸せな生涯がまっとうできる世の中になることを切に希望します。



橋本久行 (富長)

世代間交流・コミュニティ

「地域まちづくり」の事業がスタートし、各集落からその役割りを担うまちづくり委員が選出され「ワークシヨップ」を開催し、集落のさまざまな課題について話し合いが進行するなか、少しずつ意見が出るようになり、「集落の健

康診断」を実施したことで、改めて集落内の現状が理解できたと思えます。「少子高齢化・人口減少時代のまちづくり」をどのように取り組み、推進していくのか集落内ではさまざまな集まりで話し合い、取

り組んでいるところです。「庄内校区地区会議」は、2月に1回の開催を本年度から毎月1回に変更し、課題を集約して事業を推進していきます。「自慢できる故郷づくり」を目指し事業推進していきます。「できるかできないかは、やってみなければわからない」の精神で!

春4月、桜は新鮮な花びらを、力いっぱい広げほんのひと時、心を和ませてくれます。いま、議会では議会改革に取り組んでいます。議員の仕事は何か。行政の監視、議案の賛否、提出・修正と幅広く求められます。また、町民の代表として行政に声を届ける。昨年、物議をかもした山香荘の活用方法。みなさんの思いは届いたのでしょうか。これらの仕事をするのに議員は何人が適正ですか。合併して広くなった大山町みなさんも一緒に考えてください。

最後に、それを任せる議員の報酬です。若い働き盛りの声を届けるためには、ある程度必要になります。来年の春は、大山町の将来に向かって、どのような桜の花が咲くのでしょうか。

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報委員会】

- 委員長 竹口 大紀
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記